

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館・博物館施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	07	01	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館及び博物館利用者	意図	快適・安全に施設を利用していただく。
事業内容	清掃・空調設備等の保守業務を専門業者に委託するとともに、図書館及び博物館の施設と設備の維持・管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	図書館及び博物館の老朽化が進行することにより、不具合の発生が懸念される。緊急性のあるものから優先的に修繕を行っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	施設の利用者数	88,995	91,768	91,036	人	↑↑↑
②	施設の1日平均利用者数	290	298	302	人	↑↑↑	利用者数/開館日数
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	簡易な修繕については、職員が行い、修繕費の経費削減に努めている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	常に良好な環境で学習・研究できる場を提供するため、施設の清掃及び環境衛生業務委託に係る日常の清掃場所を再点検した。また、屋上笠木の補強及び防水修繕、避難誘導灯の交換、機械室内消火栓設備の交換を行った。さらに、緊急度の高い小破修繕を行った。
事務事業の総コスト(a=b+c)	29,753,643	28,746,577	26,342,397	
事業費(b)(円)	20,677,743	18,895,677	17,313,547	
うち一般財源	20,677,743	18,895,677	17,313,547	
職員給与と費(c)(円)	9,075,900	9,850,900	9,028,850	
人役・職員(人)	1.25	1.25	1.25	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)	0.40	0.40	0.40	
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	図書館及び博物館を利用する方が不快に感じることがないように、引き続き快適で安全な施設として保全する。	③取組の課題	図書館及び博物館のさらなるバリアフリー化や施設の経年劣化に伴う修繕を見極め行う必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	図書館及び博物館屋上笠木の補強及び防水修繕、避難誘導灯の交換、機械室内の消火栓設備の修繕を行った。また、緊急度の高い小破修繕を行った。	④今後の改善計画	図書館、博物館の小破修繕をはじめ、施設個別計画を作成する。